

社 報



震災で建設は良くなるか

合板が不足

東日本大震災の影響で合板が不足しています。東北地方にある合板工場が被災して、ツーバイの合板が生産できなくなった為です。型枠合板は全数が輸入品ですから直接の関係はないのですが、値上がりの見込みから、買占めが発生し、品不足となったようです。当社では中国から輸入する計画を立てています。

国土交通省のフロンティア事業は落選しました。(残念！)



このたびの東日本大震災において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様へ深くお悔やみを申し上げるとともに、被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申しあげます。

私達、建設業に携わる者にとって、自然災害と言えども建物が次々に壊れていく姿を見るのは、本当に辛い思いです。

神戸の地震の時にも思いましたが、人間の生活にとって、家・住居がどれほど大切な物であるかを思い知ります。それだけに建物を作る側の気持ちとしても、災害に強い建物、人の命を守る建物を作っていかなければなりません。

世間では、震災によって多くの建物が失われた結果、復興需要で建設業の業績が良くなるのではないかと、株なども、建設関連株が上昇しているとの話も聞きます。

確かに短期的には、被災地での建設需要は高まりますし、関連する建設会社の業績も良くなるかもしれません。

しかしながら、大勢の人々が亡くなり、建物が失われ、日本の経済が減速していく中で建設業が良くなることなど絶対にあり得ません。

私達、建設業は住居・工場・会社・倉庫など、基盤となる地域の経済が良くなってこそ成り立つ産業です。経済が減速すると、それに伴い、建設業界も衰退していくのが当然の経済原則です。

長期的に見れば、短期的な需要回復で建設業界が良くなることはなく、短期回復を需要の先食いと考えれば、長期的には必ず悪い方向へ行くということなのです。

私達は他の産業によって生かされていることを思い知るべきです。

建設業が国家建設の基盤だと、大げさなことを言う人もいますが、建設業が建設をするのは当り前の話で、そんなことは偉いことでもなんでもありません。

今回の大震災に思うことは、基本的に忠実に、技術を磨き、コストを低減し、常に挑戦を続けて、社会に有用な建設を追求することだと思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

災害は忘れた頃に来る

災害は忘れた頃にやって来る、まさにこの言葉通りに、東日本大震災が発生しました。東海・東南海地震は発生の懸念が叫ばれていましたが、東北での大震災、しかも巨大津波の発生は思いがけも発生しました。

神戸の地震の時も、直下活断層であのような大震災が発生することは思いがけなく、驚きでした。

地震・台風・竜巻・洪水などの自然災害は忘れた頃にやってきます。また、人が起こす、事故・災害も同じように忘れた頃に発生します。

自然災害は、被害を防ぐことはできません。それに対して、人災は発生そのものを防止することができます。産業人としての努めです。

2011年 安全成績

■ 現場災害 H23.1.1-H23.4.30	
休業災害	----- 2
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■ 交通災害 H23.1.1-H23.4.30	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0